

令和6年度 福岡市南保健所運営協議会議事録

1 日 時 令和6年5月24日（金） 14時～15時15分

2 場 所 南区保健福祉センター1階 講堂

3 出席者 中房会長 伊藤副会長 近藤委員 小河委員
松村委員 白水委員 岩子委員 篠隈委員
天前委員 阿部委員 辻 委員 児玉委員

欠席者 川上委員 野口委員 山本委員 江口委員
熊谷委員 山口委員 小川委員 森川委員

事務局 執行保健所長 早川健康課長 松崎衛生課長 吉村地域保健福祉課長

傍聴者 なし

4 開 会 定足数確認（委員20名中12名出席）

5 所長挨拶 執行保健所長 挨拶

6 委員の自己紹介

7 保健所職員の紹介

議事進行 中房会長

8 議題(1) 令和5年度事業報告について

早川健康課長、松崎衛生課長、吉村地域保健福祉課長が説明

質疑応答

▼[委員]

3点質問したい。

1点目、コロナ感染症における外出自粛期間において、保護者の目の届かない範囲でこどもに起こった不幸な出来事について、例えば望まない妊娠についてなど、どのような報告があり、どのように把握しているか。

2点目、子供たちとの対面での会話が重要と認識しているが、オンラインを通じた関係が多くなる中、心の健康状況をどのように把握しているか。また、不眠や食欲の低下など、その内容での健康診断の実施や現状の把握について伺いたい。

3 点目、母子の関係において、母親一人で育児を行う場合、間違っただ情報を鵜呑みにしたり、1 対 1 での母子関係が子への虐待に繋がったりという状況を耳にするが、その状況を把握しているか、もしくは保健所としてどのように対応しているのか。

○[事務局]

1 点目について、外出自粛による生活様式の変化における、こどもに起こった不幸な出来事については、虐待を含め情報提供があった場合に、調査等を実施し関係各課が対応している。ただし、その事案が、コロナ感染症における外出自粛が直接の原因であると判断できる状況ではない。

2 点目について、1 点目と同じように、周辺関係者からの心配事の通報や相談があった場合に、担当部署で対応していくことになる。オンライン化などの社会変化の影響に関する積極的な調査などは行っていない。

3 点目について、個別の相談については健康課母子保健係で受けている。また乳児家庭全戸訪問や妊娠 7 ヶ月アンケートにおいて不安を示される方に関しては、積極的に関わりを持って対応している。

○[事務局]

1 点目について、望まない妊娠全件ではないが妊娠届を提出した場合は把握することができ、妊娠継続を望む場合については、妊娠期から出産後に継続的支援を提供し、本人が負担に感じることなく子育てできるようにしている。

3 点目について、子育てに関する情報は、私どもも適切な情報を届けることが非常に大事と思っている。南区は転出入者も多く、相談者のいない場合は孤立育児になりやすい。また、核家族化により育児経験がない方が非常に多くなっている。そのような方に対し適切な情報を届ける重要性を鑑み、今年度、子供の育児のポイントを示した動画を作成予定である。南区の医師に監修してもらい、正しい情報に基づいた、生後 4～5 か月と生後 7～8 か月、生後 12 ヶ月の子供の子育てのポイントを示した動画を作成予定である。それに加え、出産後の母の心と体のケアに関する情報、パートナーの役割についての情報も動画でまとめている。

このように、子育て中の方にプッシュ型で配信することを計画している。

今年度秋以降に、準備が整い次第スタートする予定である。

9 【報告事項】 保健所再編の経緯、市保健所の体制について

執行保健所長が説明

質疑応答

▼[委員]

感染症対策においては、業務を集約化した方が効率的というのを強く感じていたので、まとまる方向だと、ありがたいと思う。

そこで、コロナ対策の様に、今までは各区の保健所に問い合わせを行っていたが、再編後はどの部署が担うという理解をしたらよいか。

○[事務局]

コロナのような感染症対策についての連絡については、保健所が受けることになる。

新しい連絡先等については、関係医療機関やクリニックなどを始め、6 月に入りお示しする予定である。

性感染症の検査については、保健所が実施するが、実施場所は各区の施設を使用する。

一般的な市民からの相談や感染症や予防接種の相談は引き続き区で行う。

医療機関や三師会の関係業務においては保健所で対応していくことになるため、新しい連絡先等については、6月に入りお示しする予定である。

▼[委員]

新しく作られる福岡市保健所運営協議会の編成（委員）について、どのような構成になるか、分かれば教えて欲しい。

○[事務局]

形式や人数、職種について具体的には聞いていないが、現在の7区の委員、全員そのままではない。おそらく、その中から集約したような形で団体代表の方に対する委員の要請になるのではないかな。

▼[委員]

新しく作られる福岡市保健所運営協議会の議事の内容については、7区の内容を全部統括して、新しい福岡市保健所運営協議会の議事となるという考え方でよいかな。

○[事務局]

おそらく、感染症や精神、難病など保健所が所管する業務について、7区を集約し統計を取るにより、具体的なサーベイランスとしても専門的なところで分析ができる可能性がある。まだ、どういう形態になるかわかりかねるが、そういうイメージだと思っていただいて構わない。

▼[委員]

今後、市民や南区民、一般の方たちへの保健所再編についての説明はどういった形で出されるのか。

○[事務局]

周知方法については、現在チラシ等を作成している途中である。また、6月の市政だよりに掲載する予定になっている。市民の皆さんにはそのような形でお知らせする予定である。

▼[委員]

この保健所を再編する情報は出してもよいのか。

○[事務局]

保健所の再編については議会を通っているので情報を出しても構わない。
ただ、連絡先等については、まだ決まっていない。

▼[委員]

保健所の再編についての説明資料にある再編後の主な業務で、感染症という単語が3回記載されている。専門職であれば理解できるかも知れないが、一般市民にとって理解しにくい記載方法である。改善することはできないかな。

○[事務局]

この資料は、この会の資料になるので、対市民においてはもっと分かりやすい表現を用いた資料を準備し、医療機関には、医療機関向けの資料を準備したいと思う。

▼[委員]

これまでの各区の保健所運営協議会での議論の実施や情報交換については、1年間の活動の報告を受けて、来年はこんな風なことをやってみようこのメンバーで話をするよい機会であり、

大事な場面であったと思う。

一本化されることによって、福岡市全体の保健所の協議会として大きな議論をしていくことも大事だが、南区ならではの課題について対処していける、そのような委員会を継続していくことの必要性について、ぜひ考えていただきたい。

▼[委員]

確かに区ごとに開催させていただく要望があったことを今後の課題としていきたい。

▼[委員]

この意見に関して、検討していただければありがたい。どうぞよろしく。

10 閉 会

会長より閉会の辞